

公益社団法人日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会

集まれ！IBARAKI POWER！

第43回 茨城ブロック大会 みんなで“輪っしよい”

SHIMOTSUMA

9月15日月 入場無料

会場：下妻市民文化会館  
下妻市公民館  
下妻市立総合体育館  
下妻市本城町3-36-1

フォーラムⅠ 下妻市民文化会館 9:30~11:30

皆のPOWERで、元気ある未来を創ろう！



玉澤 徳一郎氏



稲葉 本治氏



杉田 周平君

第1部 講演 ～意気あふれる人財とは～

講師 玉澤 徳一郎氏 (第55代防衛庁長官、第137代農林水産大臣)

第2部 パネルディスカッション ～元気ある未来について～

パネラー 玉澤 徳一郎氏 (第55代防衛庁長官、第137代農林水産大臣)

稲葉 本治氏 (下妻市長)

杉田 周平君 (茨城ブロック協議会 第43代会長)

コーディネーター 高田 稔美氏 (茨城ブロック協議会 第38代会長)

定員 800名

メインフォーラム 下妻市民文化会館 13:00~15:00

日の丸を背負って世界へ挑んだ男  
～日本人が持つ精神性や道徳心から  
この国の素晴らしさを再確認～



講師 宮本 慎也氏

- (2004年 アテネオリンピック野球 日本代表キャプテン)
- (2006年 WBC世界一 日本代表メンバー)
- (2008年 北京オリンピック野球 日本代表キャプテン)

サイン入りグッズが当たる  
抽選会も行います！

定員 800名

フォーラムⅡ 下妻市公民館大会議室 9:30~11:30

取り戻せ日本のこころ  
～サンコンさんから見た美しき日本～



講師 オスマン・サンコン氏

- (1969年 コナクリ大学卒業後ソルボンヌ大学に国費留学)
- (1972年 ギニア共和国外務省に入省、ギニア大使館設立の為駐日大使と来日、その後ワシントンDCに勤務)
- (1984年 外務省を退職し再来日)

定員 200名

フォーラムⅢ 下妻市立総合体育館卓球室 9:30~11:30

拡大道場！IBARAKI POWERスイッチオン！  
～意気あふれるJAYCEEこそが、  
活気に満ちた地域を創る！～



講師 神戸 秀典氏

- (小田原JCOB)
- (2012年度拡大褒章会頭特別賞受賞)

定員 150名

お申込み方法のご案内

FAX 0296-49-2279  
Mail my\_style\_infinity@yahoo.co.jp  
URL www.jaycee.or.jp/2014/kanto/ibaraki/

詳しくは…

茨城ブロック協議会 検索



- ◆鉄道の場合
- つくばエクスプレス・守谷駅より～関東鉄道常総線～下妻駅 (快速30分 普通40分)
  - JR常磐線・取出口駅より～関東鉄道常総線～下妻駅 (快速50分 普通65分)
  - JR水戸線・下館駅より～関東鉄道常総線～下妻駅 (快速15分 普通20分)
- ◆お車の場合
- 常磐自動車道・谷和原ICより国道294号線を經由 (40分)
  - 常磐自動車道・土浦北ICより国道125号線を經由 (40分)
  - 北関東自動車道・筑西ICより国道50号・国道294号線を經由 (45分)

主催：公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 主管：一般社団法人 下妻青年会議所 後援：茨城県・下妻市

広報しもつま 8

Shimotsu City Public Relations, Japan

2014 AUG vol.700

広報しもつま 8月号 2014年 毎月10日発行 No.700

発行/下妻市・市長公室秘書課 0296-43-2111 〒304-8501 茨城県下妻市本城町2-22 印刷/坂入印刷所

URL http://www.city.shimotsu.lg.jp/ E-mail info@city.shimotsu.lg.jp 広報しもつまは、資源保護のため再生紙を使用しています。



涼を求めて 「気持ちいい」

# 満腔の情熱を傾倒

～三万市民の輿望に應えて～

## 第1号

昭和29年7月15日発行

人口：3万2,303人 / 世帯数：5,601世帯  
一般会計：1億2,243万円（合併後9月補正）

昭和29年6月1日に1町6村が合併し、「下妻市」が誕生しました。それから1月半後の7月15日に「下妻市報」第1号を発行。新聞と同じ大きさで、1枚両面刷りでした。紙面の冒頭では、7月17日に挙行される市制執行祝賀式典にあたり、「市長挨拶」が掲載されています。澤部元信市長は「一つはもつて県西に於ける文化の中心都市として、一つはもつて周辺生産物の加工都市として、或いは又新規工業都市として助成し、将来農、商、工、総合産業都市を建設せねばならぬのであります」と市政に対する強い決意を述べています。

連載コーナーでは、「営農」と題するコーナーが創刊時から始まり、農作業に対する時節の手入れや注意点、家畜に対する病気の予防策などが掲載され、農業が本市の基幹産業であった当時の姿がうかがえます。

「あとがき」では、秘書課広報係が「広報を市役所のものではなく、皆さまのものとして、ほんとうの意味の『われらの広報』として充分にご利用をお願いいたします」と書いています。創刊時から市民本位の広報づくりを心掛ける精神は今も引き継がれ、市民の生活に密着した出来事や情報を伝えてきました。

第2号（昭和29年8月20日発行）からは、広報紙の判型がタブロイド判（新聞の約半分の大きさ）になり、月1回を目安に発行されますが、発行日は不定期でした。



第1号  
▶市制施行を祝うパレード  
(昭和29年度)



第100号 ▲睦ヶ丘中学校校舎  
一棟が全焼  
(昭和39年度)

第300号  
▼「黒駒の渡し」  
100年の歴史に幕  
(昭和56年度)



第200号  
◀工業団地造成  
工事始まる  
(昭和47年度)



今回は、「広報しもつま」700号発行の節目を記念して、第1号が発行された昭和29（1954）年7月15日から、700号発行の平成26（2014）年8月10日までの60年間で下妻市が歩んできた足跡を、第1号から100号ごとの記念号の記事などをダイジェストで紹介し、これまでの下妻市を振り返ります。

また、この面に掲載している写真は、記念号が発行された年度の主な出来事をあげてみました。皆さんの記憶にある写真や記事などはいくつあるでしょうか。

# 39年度総予算

～道路・教育問題が重点～

## 第100号

昭和39年4月10日発行

人口：2万9,230人 / 世帯数：5,878世帯 / 一般会計：2億6,768万円（当初）

第100号は、4月にあったことで当初予算の概要が一面となりました。当時の重点施策は、道路と教育。

道路事情は「自動車交通の増加に伴い、国道、市道とも悪路となり、市民の迷惑は極めて大きく、また産業発展にとりましても多大な障害となっている」と掲載され、完全舗装道路が熱望されました。

教育では、合併に伴う「統合中学校」の建設が急務とされ、一日でも早い教育の機会均等の実現に向けて予算が編成されました。

第90号（昭和38年4月5日発行）から、広報紙の判型がタブロイド判からB5版に変更され、第91号（昭和38年5月10日発行）の発行を機に、現在と同じく毎月10日の定期発行になりました。

また、一時的に市の人口が三万人を割り込んだ時期でもありました。



第400号  
▲小貝大橋の開通に  
渡り初め1000人  
(平成元年度)

# ふせごう交通事故

## 第200号

昭和47年12月10日発行

人口：2万7,905人 / 世帯数：6,271世帯 / 一般会計：10億8,700万円（当初）

昭和42年に交通死亡事故が3件であったものが、5年後の昭和47年には9件と3倍に増えるなど、本市で交通事故が増え続ける状況を重視し、現状と原因の把握、対応策が一面を飾りました。

「無免許運転」「酒酔い運転」「速度の出し過ぎ」「前方不注意」などにより、市内で起こった交通事故の実例をあげ、全国的には減少傾向にある交通事故が、本市では増え続けている現状を比較表で示しました。原因は「都市化が進み、国道はすべて完全舗装されたことで、通過車両が急激に、しかも大規模におそってきたため、一般市民がそれに対応しきれないことが、おおかたの見方である」と掲載されています。

そのような状況を重視した市では、昭和47年7月、新たに「交通安全課」を設け、交通安全対策を最重要項目として、市民の皆さんとともに積極的に交通事故防止に努めています。



第500号 ▲第1回大人神輿連合渡御  
(平成9年度)



第600号  
▶鬼怒川水辺の学校完成  
(平成18年度)

# 「下妻市報」第1号から60年 「広報しもつま」は700号を迎えました

# 「動画」で 下妻市をPRしています

市では、インターネットやスマートフォンの普及などを背景に利用が飛躍的に拡大している「動画」での情報発信について、市制施行60周年を機に、下妻市PRビデオ「下妻観光物語」と、イベントや観光、特産品を紹介する“短編動画集”を制作しました。

下妻市と交流のある自治体や団体、関係企業などにDVDを配布し、下妻市の魅力をアピールするとともに、市のホームページでも「下妻観光物語・しもつま動画チャンネル」のコーナーを新設し、公開しています。

また、下妻市PRビデオ「下妻観光物語」は、市立図書館で「DVD版」「ブルーレイ版」の2種類を貸し出していますので、ぜひご覧ください。

市では、シティブロモーションを推進する観点から、広報紙をはじめ、ホームページやツイッターなど、さまざまな広報媒体を通じて、情報発信力を高めていきます。

## ●下妻市PRビデオ「下妻観光物語」(19分32秒)



下妻市イメージキャラクターの「シモンちゃん」が案内役になり、「花のまち」をアピールしながら、「レジャースポット」「特産品」「イベント・おまつり」など、下妻の魅力をたっぷり紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

## ●イベント、観光、特産品を紹介する“短編動画集”(2~3分/本)

- ①下妻の桜②多賀谷時代まつり③鬼怒フラワーライン④小貝川フワフェスティバル⑤砂沼サンビーチ⑥下妻まつり⑦しもつま砂沼フェスティバル⑧ピアスパークしもつま⑨筑波サーキット⑩下妻の節分祭⑪下妻の梨⑫タパン力祭⑬ふるさと博物館⑭下妻市制施行60周年記念式典

## ●下妻市ホームページから「PR動画」を見る場合

下妻市ホームページ (<http://www.city.shimotsuma.lg.jp>) へアクセスし、トップページ内の「下妻観光物語・しもつま動画チャンネル」のバナーを、クリックしてください!!

### 下妻観光物語 しもつま動画チャンネル



お問い合わせ 秘書課 内線1212

「広報しもつま」が700号を迎えました。第1号の発行から60年。人間でいえば還暦のお祝いになります。600冊を見返すと、その時代の時代を感じる事ができます。広報の記録は、これからも大切に保存され、次世代に受け継がれていきます。

この60年の間に、紙面も大きく変わりました。新聞の大きさから始まり、タブロイド判、B5版へと変わりながら、昭和47年4月10日発行の第192号からは、現在のA4版になりました。さらに、

## 編集後記

●「広報しもつま」第700号の足跡

# 募集 します

## ほっとレポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

「広報しもつま」では、市民の皆さんの声を行政に反映し、より親しみを持っていただけるよう市民参加のページを設けています。

「ほっとレポ・ライン“市民の声”」のコーナーでは、市民の皆さんからの声や情報などを提供していただき、「広報しもつま」を愛読していただいている方々をはじめ、広く市内外にアピールしていきます。

市民の皆さんからのホットで、心温まる情報や明るい話題などをお待ちしていますので、お気軽にお寄せください。

- 【対象者】市内にお住まいの方（自薦他薦は問いません）
- 【原稿等】おおむね400~800字以内（様式は問いません）
- 【編集】原稿や情報などをお寄せいただいた方と広報担当で調整します。なお、営利目的の広告や誇大、虚偽、公共性を損なう原稿などはご遠慮ください。
- 【受付】随時。ただし、掲載を希望する月がある場合は、その前月の15日まで
- 【提出】市役所秘書課へ直接もしくは郵便、ファクシミリ、Eメールで提出ください。

問い合わせ・提出先 秘書課 ☎内線1212  
FAX 43-1960/Ex-ℓ hisho@city.shimotsuma.lg.jp

# 盛大な見送りを受ける 訪中バレーボール選手団

第300号

人口: 3万791人 / 世帯数: 7,571世帯 / 一般会計: 41億8,800万円 (当初)

第300号の表紙では、茨城スポーツ少年友好訪中団のバレーボール代表選手団に選ばれた下妻中学校、古河第一中学校、古河第二中学校の選手15名が、成田空港へ向かう直前、市役所玄関前で加藤俊介市長をはじめ、バレーボール協会関係者、下妻中学校の生徒とその保護者、市職員などから盛大な見送りを受けた様子が掲載されました。また、「話題」のコーナーには、上妻小学校・上妻幼稚園の体育館が完成した記念に、園児や児童約50人が「おはやし」を披露したことが掲載されていました。昭和50年代は、市内小学校の校舎や体育館が木造から鉄筋コンクリートの校舎、鉄骨造りの体育館に、順次建て替えられていきました。近年、耐震化や大規模改修の工事が計画的に実施されてきた市内小学校の校舎や体育館は、この時期に建設されたものです。



# 筑波ハイテクフォーラムパーク 計画の概要

第400号

人口: 3万3,303人 / 世帯数: 8,735世帯 / 一般会計: 71億3,000万円 (当初)

この号で紹介したのが「筑波ハイテクフォーラムパーク計画の概要」。下妻市、つくば市、明野町(現・筑西市)の3市町にまたがる317ヘクタールの敷地に、「職・住・遊・学」の四つ機能を持つ国内初めての複合都市づくりを目指す計画で、民間資本で事業化が進められていました。財政基盤の拡大や交通体系、道路網の整備、地域のイメージアップなどの開発効果が期待され、県や3市町が支援していく方針を立てました。昭和末期から平成初期頃の日本の好景気に支えられたこの計画は、バブル経済の崩壊などから事業の具体化は果たされませんでした。そのほか掲載された情報の中で興味深かったのが、9月2・3日に砂沼球場で開催予定の「砂沼フレンドリーフェスティバル」のイベント情報です。当時、人気急上昇のアイドル「荻野目洋子コンサート」や、誰でも参加できる「ウルトラクイズ」の上位5人に「グアム旅行」がプレゼントされるなど、内容が盛りだくさん。賞品が豪華で景気の良さを感じさせるものでした。

平成元年8月10日発行



# 明るく住みよいまちづくりを目指して 市長と自治区長との“対話集会”開かれる

第500号

人口: 3万6,866人 / 世帯数: 11,123世帯 / 一般会計: 118億3,000万円 (当初)

第500号では、市民参加と広聴活動の一環として、市内の自治区長が一堂に会して市長と直接対話する「市長と自治区長との対話集会」が報告されました。各地区から出された代表的な意見や要望などに対して、市長の回答がつけられた。掲載内容となつていますが、道路の改良や側溝整備、ごみ問題など市民生活に密着した要望が数多く重なる中で、「第6回フェスティバルが、地域でマンネリ化していることから、スポーツにこだわらず、地区の事情に合ったものを実施したい」との提案があり、地域での課題を地域自身が解決しようとする市民協働の取り組みがうかがえる意見もありました。

平成9年12月10日発行



# 第2期小倉市政がスタート

第600号

【平成18年1月1日、千代川村と合併】

人口: 4万6,335人 / 世帯数: 14,839世帯 / 一般会計: 142億3,900万円 (合併後6月補正)

第600号は、平成18年1月1日、千代川村と合併して新下妻市が誕生した3月後の発行となり、平成18年3月に無投票再選を果たした小倉敏雄市長の「2期目スタート」となる初登壇の記事が一面となりました。また、合併後の新下妻市として発行した第597号(平成18年1月10日発行)では、「広報しもつま」で連載していた村民紹介コーナー「さわやかリレー」を継承し、「13歳までのかわいい盛りのお子さんを紹介するコーナー」を復活させました。この二つの連載コーナーは、現在も続いており、「広報しもつま」に掲載されることで、市民の皆さんに親しま

平成18年4月10日発行





タイ現地の高級日本食レストランでPR・商談

**在** 日タイ王国大使を表敬訪問した後の7月9日には、出荷が始まったばかりの「下妻産ハウス幸水梨」を輸出し、市内の梨生産者らがタイの首都バンコクに向かい、現地の青果物直売所や日本食を扱う飲食店などで試食してもらおうと商談を重ねました。

## 現地タイでのPR・商談 8〜9月の旬に「下妻の梨」を輸出決定

けました。現地ですぐに入荷は「ガリガリ、スカスカして、みずみずしさがなく」とのこと。

新規の販売先には、青果物等の直売所や卸業者、飲食店など計5業者が決まり、需要に応じて8〜9月の旬に「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」の各品種を随時輸出することとなりました。

また、商談では、梨以外にもタイで仕入れることができず、日本の野菜など、少量でも輸出の需要に応じた栽培を希望もありません。JA常総ひかりでは、出荷量がまとまらないと、市場で他産地よりも優位な価格での取引契約ができないため、現在生産していない品目について、経営を縮小したり、農業をやめたような、手の空いている農業者、需要に合わせた輸出入用栽培を進めることを検討すると、梨以外の青果物の輸出にも手応えを感じています。



在東京タイ王国大使館前での記念撮影 (前列右から4番目: タナティップ・ウパティシム大使、同5番目: 下妻市果樹組合連合会・海老澤守男会長、同3番目: 稲葉市長)

# 「下妻の梨」、さらなる挑戦

下妻市の梨の生産量は、年間約400トン。茨城県内でも有数の梨生産地で、その生産量と質のよさは市場でも高い評価を受けています。近年では、梨生産者の若手プロジェクトチームが「下妻甘熟梨」を開発したほか、梨を作って売るだけでなく、新しい梨の魅力を引き出しているところ、企業や市と連携して加工品の開発を進めるなど、ブランド化や販路拡大に積極的に取り組んでいます。今月号では、昨年9月に「下妻の梨」の販路拡大に向けて、タイとシンガポールに試験輸出した経過から、今年は現地でのPR・商談を進め、販売輸出の本格化を図る活動と、ブランド化を目指して開発された新商品を紹介します。

## 「下妻の梨」をタイに販売輸出を本格化 在日タイ王国大使を表敬訪問

**下** 妻市の特産品「梨」を、タイへの販売輸出に向けて本格的に事業を展開する下妻市果樹組合連合会、JA常総ひかり、下妻市は7月7日、在東京タイ王国大使館を表敬訪問しました。在日タイ王国大使のタナティップ・ウパティシム氏に、下妻産の梨をPRし、昨年の現地試食アンケートに対する協力のお礼と、今後の梨の輸出について応援を依頼しました。

同連合会では昨年9月、タイの首都バンコクで開催された企業イベント「SME Thailand Expo」

2013年に下妻産の梨「あきづき」を出展し、試食アンケートを実施。現地の人が好む味や購買価格を調査しています。昨年のアンケート結果をもとに販売価格を設定し、今年は販売を目的とした輸出を実施する計画を説明すると、大使からは「タイで食の日本ブランドは人気があり、青果物についても人気がある」とのコメントが聞けました。

「今年の梨は出来が非常に良い。誇りを持って海外に出せる」と自信をみせる下妻市果樹組合連合会の海老澤守男

## 8月1日から「下妻の梨」の良さを最大限に生かした商品販売

今年の「下妻の梨」は、生育が順調で、露地物は8月上旬から「幸水」に始まり、「豊水」「あきづき」「新高」の順に10月上旬頃まで販売が見込まれています。この旬の時期に合わせて「下妻の梨」の良さを最大限に生かした各種商品が販売されます。生で食べる梨と共に、ぜひご賞味ください。



### 下妻甘熟梨入りジャム使用 「ヤマザキ・ランチパック」

濃厚な甘みが特徴の下妻甘熟梨のピューレ入りジャムをサンドし、果肉感が楽しめるランチパックです。昨年的人气に引き続いての販売で、関東1都6県および東北、北陸エリアのスーパーやコンビニエンスストアで買うことができます。1袋2枚入りで、メーカー希望価格130円(税別)。

### 下妻甘熟梨入りカスタード大福 「下妻のおもて梨」

カスタードクリームに、甘く煮こんだ豊水梨を混ぜ込み、もちりとした餅で包み込んだ和洋折衷のお菓子。冷凍保存するため、通年販売が可能な商品になっています。1箱8個入り1,080円(税込)。道の駅しもつまやピアスパークしもつま、やすらぎの里しもつま農産物直売所で販売されます。



### 下妻産あきづき使用 「梨のリキュール・プレミアム」

さわやかな酸味と上品な甘さが特徴の梨「あきづき」を原料に使用しています。手間を惜みず、一つ一つ丁寧に育てられた「あきづき」のプレミアムな味・香りをお楽しみください。限定販売2014本。1本500ミリ・リットル入り1,550円(税込)で、アルコール度数は10度。道の駅しもつまやピアスパークしもつま、市内酒店で販売されます。





ボールの行先に注目する選手たち

ほっとランド・きぬの多目的広場・芝生広場で6月27日、下妻市老人クラブ連合会主催の「ねんりんスポーツ下妻大会2014」が開催されました。

競技種目は、「グラウンドゴルフ」「輪投げ」「ゲートボール」の3種目で、市内老人クラブの会員190名が参加し、日頃の練習の成果を発揮しながら、仲間たちとのスポーツを楽しみました。

ゲートボールの競技に参加した市内山尻の城取とぎさんは「ねんりん大会には毎年参加している。練習は週3回ぐらい砂沼荘で行っている。運動をすることは自分の心と体の健康のためにもなる」と意気揚々と話してくれました。

いつまでも元気に若々しく  
ねんりんスポーツ下妻大会2014



本宿交差点での街頭キャンペーン

夏の交通事故防止県民運動（7月20日～8月20日）に先がけて、下妻警察署や市内交通団体の関係者など総勢100人が7月18日早朝、本宿交差点と宗道交差点の2箇所街頭キャンペーンを行いました。

参加者は、信号待ちの通勤ドライバーに啓発品を配りながら、「気を付けて」などと声を掛け、交通安全を呼び掛けました。

本市では、昨年は1件の交通死亡事故が、今年に入って既に4件起きていることなどから、各戸に文書でも交通安全を呼び掛けています。市民一人一人が交通ルールの遵守と、マナーの向上に取り組み、交通事故防止を目指しましょう。

ドライバーさん「気を付けて」  
夏の交通事故防止県民運動キャンペーン

# まちのわだい

Town Topics

小野子地区主催による「文化財防火訓練」が6月29日、小野子公民館周辺で開催され、地区住民をはじめ、下妻消防署、地元消防団など約80名が参加しました。

この訓練は、県指定文化財となっている鎌倉時代の「小野子千手観音座像」を火災から守るため、平成25年1月から始められたものです。

訓練にあたり青柳教育長は「文化財は一度焼失すれば二度と元の姿に戻すことはできません。地元が主催する防災訓練には火災防止の意識がさらに高まる効果がある」とあいさつ。訓練は、下妻消防署員の指導により地区住民が連携するバケツリレーや消火器による初期消火、通報訓練を体験したほか、地元消防団による放水訓練、消火栓の使用方の講習などが行われました。

小野子公民館の近隣に住む50歳代女性の参加者からは「実際に訓練をやってみて防災に対する心構えができた。いざという時に今日の体験は役に立つ」とのコメントが聞けました。

貴重な文化財を火災から守る  
小野子地区文化財防火訓練



バケツリレーでの消火を体験する地区住民

## 砂沼サンビーチで 暑い夏を思いっきり楽しむ!!

暑い夏は、プールで遊ぼう。今年の「砂沼サンビーチ」は、8月31日（日）まで開園します。  
下妻市民入場無料デーやアトラクションも開催されます。楽しい夏の思い出づくりに、ご家族皆様でお出かけください。

【営業時間】午前9時～午後5時  
※ただし、土・日曜日、8月13日～16日は、午前8時30分～午後5時

### 8/20（水）下妻市民入場無料デー

日頃のご愛顧とご協力に感謝し、下妻在住の方の入場料を無料とします。当日、砂沼サンビーチ特設窓口にて、住所が確認できる身分証明書等を提示ください。

イベント情報  
8/24（日）・31（日） 午前11時～午後2時～

## しもんChuステージ

下妻市より生まれました！  
下妻市をPRして元気に盛り上げて行くご当地アイドルです！

【問い合わせ】砂沼広域公園管理事務所 ☎43-6661  
【公式ホームページ】<http://www.sanumasunbeach.com/>  
※幼児招待券がダウンロードできます！

### 下妻駅⇄砂沼サンビーチ 直行バス

夏休み期間中は毎日運行（往復7便）  
運賃：大人 往復400円（片道200円）  
子供 往復200円（片道100円）※小学生まで  
【運行バスの問い合わせ】  
関鉄パープルバス(株)下妻本社営業所 ☎30-5071

## 元気な“ひまわり”でおもてなし 「ひまわりサンSUNプロジェクト」展開中

市では、「花のまち・しもつま」をアピールし、市民の皆さんや市外から訪れる方に喜んでもらえるよう、「ひまわりサンSUNプロジェクト」と題して、今年から夏の花“ひまわり”を市民の手で咲かせる活動を展開しています。

6月2～13日に約16,000粒の“ひまわり”の種を無料配布し、市民約130人をはじめ、商店会や小中学校など39団体に協力を得ています。

最近、皆さんの周りで“ひまわり”が咲いていませんか。下妻駅前広場や商店街のほか、砂沼サンビーチや市役所などの公共施設でも、元気な“ひまわり”が皆さまをお迎えます。



下妻駅前広場で“ひまわり”を育てる「ゆうゆうクラブ」の皆さん

## 「社会を明るくする運動」 街頭キャンペーンを実施

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

7月8日、下妻市においても、大人から子どもまで支えあって生きていけるような地域社会の構築への理解と協力の輪を広げようと、市内のショッピングセンターなど3箇所で街頭キャンペーンが行われました。

当日は、更生保護、福祉、教育など地域で活躍する10団体が構成される「第64回“社会を明るくする運動”下妻市推進委員会」から約70名が参加し、夕方の買物客などにリーフレットやボールペンの入った啓発グッズを配布しながら運動の趣旨を説明し、広報活動に励みました。



明るく声をかけ、啓発活動を行う推進委員

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄



風水害に備えて水防工法を学ぶ  
第55回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練

「第55回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練」が7月6日、常総市新石下地先の鬼怒川左岸（石下橋下流）の河川敷で行われました。

台風や集中豪雨などによる水害の発生が危惧される時期を迎えるにあたり、水防の重要性を理解し、水害等から住民の生命財産を守るため、本市のほか、つくば市、常総市、つくばみらい市、八千代町の水防関係者約200人が参集し、合同で訓練が実施されました。

訓練は、水防工法の知識の習得、技術の体得を目的に、県常総工事事務所と土浦土木事務所の指導のもと、「木流し」「シート張り」「折り返し」「五徳縫い」「積土のう・月の輪」が実施されました。

今年4月から消防団員となった第4分団の大島雅志さんは「新しいことばかりだったが勉強になった。普段の訓練からチームワークを生かして対応したい」と話してくれました。



水防工法「木流し」の体得に真剣な団員たち



水の上を歩くウォーターバルーンに親子でチャレンジ

砂沼サンビーチで7月13日、日本青年会議所が主催する「茨城アドベンチャーアイランド」が開催されました。市内外から小学生や家族連れなど約2,000人が来場し、オープン前のプールを一早く楽しみました。

当日の目玉イベントで、砂沼サンビーチ全体を舞台にした宝探しゲーム「トレジャーハンティング」では二人一組で600人が参加。触覚・味覚・聴覚・視覚・嗅覚の五感を使って解くクイズに正解を重ね、最終関門まで残った24名には県内各地の特産品が賞品として贈られました。

上位に残り賞品を獲得した筑井よし子さん・落紗さん（東部中・2年）親子ペアは「家族みんなで参加した。問題は難しかったけれど、楽しかったし、来て良かった。夏休みもサンビーチに遊びに来たい」と嬉しそうに話してくれました。

プールでテンション最高潮  
茨城アドベンチャーアイランド



下妻市の特産品に舌鼓を打つ来場者たち

都内で下妻市の特産品・観光PR  
茨城県人会連合会総会・懇親会

東京都およびその近郊に在住・在勤する茨城県出身者で組織される「茨城県人会連合会」の総会・懇親会が7月4日、東京都文京区の椿山荘で開催され、各界で活躍する関係者約500人が参加しました。

県内の市町村や観光・物産関係組織など39団体が出展する中、下妻市の出展コーナーでは、稲葉市長や野中副市長がピアスパークしもつまの地ビールをはじめ、梨のリキュールやウイマムの飲むヨーグルト、手作りウィンナー、下妻産のきゅうりやトマト等の特産品を紹介し、砂沼サンビーチやしもつま温泉などの観光情報と合わせて盛大にPRしました。

しもつまビールのレッドエールを飲んだ50歳代の男性は「ビールの味が濃くて香りがいい。ビール好きにはたまらない」と話してくれました。

テレビでも注目「下妻の梨」

「磯山さやかの旬刊! いばらき」テレビ収録

茨城県鉾田市出身で「いばらき大使」を務める磯山さやかさんが、茨城県内の観光スポットなどを歩きながら、いばらきの魅力と旬の話題を伝えるテレビ放送「磯山さやかの旬刊! いばらき」で「下妻の梨」が取材を受けました。

磯山さんは、道の駅しもつまの農産物直売所で、8月1日に新発売となる下妻甘熟梨入りカスタード大福「下妻のおもて梨」と、下妻産あきづき使用「梨のリキュール・プレミアム」を紹介。梨畑では、摘みたての「下妻の梨」をほおぼり、「みずみずしくて、おいしー」と笑顔でした。

【放送日】8月22日（金）午前10時25分頃～  
テレビ朝日「若大将のゆうゆう散歩」内



梨畑でのテレビ撮影で「下妻の梨」を紹介する磯山さやかさん



親子で作業を分担して、楽しく調理しました

7月13日、食育を推進する視点から「料理ができる力」を身につけ、家族と一緒に楽しく料理を作ることで家庭生活での男女共同参画の促進を図ろうと、千代川公民館の調理実習室でファミリークッキング教室を開催しました。

参加したのは、市内の小学生親子など6組16名。手軽に作れる料理をテーマに「ドライカレー」「とろろこしごはん」「サラダ」「フルーツラッシー」を、市の管理栄養士を講師に食生活改善推進員の指導を受けながら、家族で協力して作りました。

「上手に切れたよ」と、野菜のみじん切りに悪戦苦闘しながらも、楽しそうに親と会話する子どもや、父親に身振り手振りで野菜の切り方を教える子どもの姿などが見受けられました。

参加した保護者は「子どもが自ら進んで作ってくれました。今度は家で一緒に作ります」などと話し、子どもと協力して作った料理を楽しそうに食べていました。

親子でクッキングにチャレンジ  
男女共同参画・保健センター食育共同事業

宝くじ助成事業でコミュニティ活動を推進  
行田自治会

行田自治会で、平成26年度宝くじの助成を受けて購入した子ども神輿と太鼓が奉納されました。新調前の子ども神輿は、明治時代に地区住民が手づくりで作成したもので、老朽化が著しく、地域の活性化のためにも新しい神輿や太鼓を望む声が高まっていました。

7月20日、恒例の夏祭りには、新しい神輿を一目見ようと、大人から子どもまで大勢の地区住民が集まり、盛大に神輿渡御が行われました。

飯塚宣夫代表区長は「新しい神輿をきっかけに、夏祭りに参加する人も増え、地域が盛り上がりあってうれしい」と笑顔で話してくれました。

この助成は、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために行われるもので、行田自治会では夏祭りなど地域の伝統行事を通じて地区住民の交流を深め、地域の活性化を図っていかうとしています。



新しい神輿を担いで地区内を練り歩く子どもたち

有料広告欄

有料広告欄

# わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



浅野 ころちゃん

和人・雅江さんの長女 長塚

いつでもどこでもお尻フリフリダンス♪日々、ことばや歌のレパートリーも増え、みんなを楽しませてくれるおちゃめな女の子です。

最近の合言葉は、何でも「びぶん(じぶん)で～」。ひとりで出来た喜びを一緒にたくさん感じてほしいな。スクスク大きくなあ～れ★



渡邊 莉子ちゃん

義徳・雅子さんの長女 下妻乙

りこちゃんありがとう!!3人目にして待望の女の子が誕生して、パパ、ママは大喜びです。りこちゃんの仕草に癒されてます。笑顔のとっても可愛い、元気なりこちゃん。これからもわが家の宝物でピカピカ光っててください。



古橋 茉紘・和久ちゃん

典久・安奈さんの長女・長男 砂沼新田

歌とパズルがお気に入りの茉紘。みんなに歌を聴いてもらうのが大好きです。

甘えん坊の和久は、つかまり立ちが出来ようになり、さらに色々なものに興味を持つようになりました。二人とも仲良く元気に成長してくれることをパパとママは願っています。



# 口頭詩

子どもの純粋な心のつゆき



佐々木 美緒  
5歳2か月  
(大宝幼稚園)

ポタン  
しょうちゃん  
やってあげる  
ポタン  
トンネルをとおるよ  
ほら できた

【解説】  
自分で出来ない弟のためにやってあげ、トンネルと教えていたのが、可愛らしく、頼もしく感じました。  
採集 母 佐々木美香

# 下妻保育園

## からだのぼうけん

「食べた物はどうなるの？」  
「どうして体は大きくなるの？」

▼年長児の皆さん



子どもたちの疑問から生まれた遊び「からだのぼうけん」は、口→食道→胃→小腸→大腸と進んでいく食育もかねた楽しい迷路遊びです。



俳句  
糠雨の降りては止みぬ濃紫陽花 小林 紫水(唐崎)  
畦道の私も好きよ姫女苑 木村まり子(加養)  
忍者ポーズ真似ておどけて汗の児等 飯村 真琴(黒駒)

# 市民文芸

## 短歌

そよ風がさそふ眠りに亡き夫は 木村 りん(下妻乙)  
彦星われは織姫となる 寺田 陽子(下妻乙)  
行ききれて静御前が佇ちしとや 坂井 勝美(五箇)  
おぼろ月夜のさしま思案橋 鈴木 澄江(宗道)  
点滴に眠り続ける老い妻の 田宮 道子(本宗道)  
部屋替へられし小さな溜息 稲葉 節子(加養)  
一昨年夫が求めしミカンの枝に 神郡 亜佐(高道祖)  
やと実りが葉かげに愛し 外山とく子(下妻乙)  
八十路すぎなほ捨て切れぬ夢を追ふ 関 千代子(下妻乙)  
加速して過ぐ残生の日々を 神郡 亜佐(高道祖)  
女の孫は二月程で垢抜けて 鈴木 澄江(宗道)  
駅の階段颯爽と降り来る 稲葉 節子(加養)  
どくだみの白き十字の花を届け 神郡 亜佐(高道祖)  
手のうつり香を厨で洗ふ 外山とく子(下妻乙)  
休憩の敷島バラ園ゆふづきて 関 千代子(下妻乙)  
プリンセスミチコの薔薇のほほえむ 関 千代子(下妻乙)  
ほんのりと定家葛の香りくる 外山とく子(下妻乙)  
厨に立ちて大根刻む 外山とく子(下妻乙)

# わたしから あなたへ

さわやか  
リレー  
vol.103

前回登場の磯山仁さんからの紹介



小島 浩二さん(筑波島)

## 五十からの手習い

「ストライク」「セーフ」  
私が休日(シーズン期間中)に審判をしているときの発声です。  
審判を始めるきっかけは、7年前に当時の下妻市ソフトボール連盟の審判長・鈴木武雄さん(一昨年逝去)に「ソフトボールの審判をやってみないか」と誘われ、軽い気持ちからのことだった。他にも下妻市ソフトボール連盟に聞かせていただいているため、私の休日はグラウンドで過ごすことが多い。

多くの方は、ソフトボールと言えは北京五輪で女子チームが金メダルを取った記憶はないように、まだあるだろう。しかし、それ以降ソフトボールの話題はほとんどない。そのソフトボールが、5年後の2019年茨城国体・少年男女の部で下妻市を会場として開催される。大会が盛り上がるように私自身も微力ながら手伝いたい。(もちろんソフトボール連盟も一丸となって協力します。)

茨城国体の日まで健康に留意し審判の技術を向上させ、そして大会当日、グラウンドに立って正確なジャッジができることを目指したい。「審判さん、アウトだよ」と言われないように。

有料広告欄

有料広告欄

相談ごと

**◆行政相談**  
 日時 9月12日(金)午後1時30分～3時30分  
 場所 千代川公民館 1階 小会議室  
 日時 9月26日(金)午後1時30分～3時30分  
 場所 下妻公民館 1階 和室  
 問合せ先 秘書課 ☎内線1212

**◆人権相談**  
 日時 9月26日(金)午後1時30分～3時30分  
 場所 下妻公民館 2階 小会議室  
 問合せ先 人権推進室 ☎内線1583

**◆こころの健康相談**  
 日時 9月10日(水)・24日(水)  
 午後1時～4時(予約制)  
 場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室  
 問合せ先 福祉課 ☎内線1573

**◆消費生活相談**  
 日時 月・火・木・金曜日(毎週)  
 午前9時～12時 午後1時～4時30分  
 日曜日(9月14日・28日)  
 午前9時～12時  
 場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)  
 問合せ先 下妻市消費生活センター ☎44-8632

**◆納税相談**  
 ・夜間納税相談  
 日時 9月4日(木)午後5時30分～7時30分  
 ・休日納税相談  
 日時 9月28日(日)午前8時30分～午後5時  
 場所 市役所本庁舎 1階 収納課  
 問合せ先 収納課 ☎内線1363～1366

**◆法律相談**  
 日時 9月9日(火)・16日(火)・24日(火)  
 午後1時30分～3時30分  
 ※事前に予約が必要です(当日不可)  
 場所 9月9日・24日  
 市役所第二庁舎 3階 大会議室  
 9月16日  
 市役所第二庁舎 3階 中会議室  
 問合せ先 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯 8月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,510人 (-9)	(-371)
男	21,778人 (-26)	(-155)
女	21,732人 (+17)	(-216)
世帯数	15,202世帯 (+22)	(+154)

テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111  
 ◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 9月1日～9月30日

9/1 月	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
2 火	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
3 水	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
4 木	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
5 金		小 古河
6 土		小 西南
7 日	<b>在</b> 菊山胃腸科外科医院 特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
8 月	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
9 火	元気アップ教室 (9:15～10:00) 2歳児歯科健診 (13:15～13:30)	小 西南
10 水	カミカミ離乳食教室 (13:15～13:30)	小 西南
11 木	遊びの広場 (10:00～10:30) すくすく相談 (13:30～)	小 西南
12 金	ぴよぴよ教室 (10:00～10:30) 5か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
13 土		小 西南
14 日	<b>在</b> 中山医院	小 友愛
15 月	<b>在</b> 坂入医院	小 西南
16 火		小 西南
17 水	後期マタニティクラス (13:15～13:30) ママサロン (13:30～15:30)	小 友愛
18 木	キッズくらぶ〈親子リトミック〉 (10:00～10:30) 3歳児健診 (13:15～13:30)	小 西南
19 金	1歳6か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
20 土		小 西南
21 日	<b>在</b> 宇津野医院	小 西南
22 月		小 西南
23 火	<b>在</b> 湖南病院/とき田クリニック	小 西南
24 水	特定健診〈基本健診〉下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
25 木	夜間健診〈特定・基本〉 下妻保健センター (17:00～20:00)	小 西南
26 金	夜間健診〈特定・基本〉 下妻保健センター (17:00～20:00)	小 古河
27 土		小 西南
28 日	<b>在</b> まつたこどもクリニック	小 友愛
29 月		小 西南
30 火		小 西南

**在** 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時  
 菊山胃腸科外科医院 ☎44-2014 宇津野医院 ☎45-0311  
 中山医院 ☎43-2512 湖南病院/とき田クリニック ☎44-2556  
 坂入医院 ☎43-6391 まつたこどもクリニック ☎30-5558

**夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990**  
 土・日・祝日(1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

**小 小児救急当番医**  
 月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時  
 日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。  
 ・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190)☎0280-87-8111  
 ・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707)☎0280-97-3000  
 ・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150)☎0280-23-7111

# 平成25年度 水道事業の業務状況

問い合わせ  
 上下水道課  
 ☎44-5311

## 予算の執行状況

区分		予算額	執行額	対予算比率
収益的収支	収入	924,519,000円	936,693,637円	101.3%
	支出	953,882,000円	922,642,725円	96.7%
資本的収支	収入	187,357,000円	190,681,567円	101.8%
	支出	469,173,000円	466,161,482円	99.4%

## 借入資本金の種類と借入高

借入資本金の種類	借入高
財務省財政融資	3,798,163,115円
地方公共団体金融機構	403,715,101円
銀行等資金	699,816,000円
合計	4,901,694,216円

## 損益計算書

費用	収益
1.営業費用 739,934,819円	1.営業収益 822,534,263円
2.営業外費用 146,418,758円	2.営業外収益 73,437,041円
3.経常利益 9,617,727円	
費用合計 895,971,304円	収益合計 895,971,304円

## 貸借対照表

資産	負債・資本
固定資産合計 10,463,481,497円	負債合計 175,627,498円
流動資産合計 574,847,977円	資本合計 10,862,701,976円
資産合計 11,038,329,474円	負債・資本合計 11,038,329,474円

## 用語解説

**●収益的収支**  
 当該年度の企業の経営活動で発生する収益(収入)と、それに対応する費用(支出)で、主な収入は水道料金です。支出には水道水提供に要する経費のほか、職員給与費、支払利息、建物などの固定資産の減価償却費などが計上されます。

**●資本的収支**  
 水道水の安定供給を維持し、利用増に対処するために要する諸設備の整備・拡充などの資産の取得に要する経費や、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と、資産の取得に要する企業債などの収入が計上されます。

**●借入資本金**  
 長期借入金です。水道管など水道施設の建設費用のために用いられます。借入高は返済のすんでいない借入金の残高を示します。

**●損益計算書**  
 一定期間の企業の経営成績を示す報告書で、その期間内に得た収益から、それを得るために要した費用を差し引く形で、損益の発生原因とその期間の純利益(または純損失)を明らかにした報告書です。

**●貸借対照表**  
 企業の一定時点における財政状態を明らかにするために、資産、負債、資本を一表に記載した報告書で、一般的に「バランス・シート」と呼ばれています。

市では、地方公営企業法に基づき、水道事業の業務状況を年2回公表しています。今月は、平成25年度の業務状況をお知らせいたします。昨年度1年間に使われた水の量は3,438,634立方メートルです。1立方メートルは、ドラム缶5本に相当する量です。平成26年3月31日現在の給水人口は39,556人、給水世帯は14,149世帯です。

有料広告欄